

県・市町村連携の取組事例 ～県による市町村道のパトロールと交換除雪～

課題

- ・ 少子高齢化とともに人口減少が進み、経済財政環境が一段と厳しさを増している。
- ・ 県と市町村それぞれが行政基盤の強化を図るとともに、相互が協働し、必要な住民サービスの確保や地域の活性化を図っていく必要がある。

取組

- ・ 県と市町村との間で道路ネットワークの協働に関する協定を締結し、パトロールの一体化等を実施

取組

- ・ 県、市町村が道路の管理区分にとわられず、相互に乗り入れを行う「除雪効率化モデル事業」によって、効率的な除雪を実施

県による市町村道のパトロール

平成22年度（開始年度）

7市1町 13路線 64.6km

令和4年度

10市4町1村 34路線 140.9km

- ・ 定期パトロールの実施、軽微な応急対応
- ・ 橋梁の維持・補修に関する技術的支援
- ・ 道路法面の危険箇所に関する技術的支援

取組の効果

効率的で良好な維持管理が図られるとともに、安全・安心の確保等、利便性の向上

除雪効率化モデル事業（交換除雪）

平成17年度（開始年度）

県が市町村道を除雪 15路線 17.1km

市町村が県道を除雪 13路線 15.0km

令和4年度

県が市町村道を除雪 62路線 88.7km

市町村が県道を除雪 54路線 81.3km

取組の効果

除雪作業の効率化や走行区間の削減